



平成 28 年 11 月 2 日 (水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
統計課	企画分析係	清水 尚仁	内線 2083 直通 058-272-8184 FAX 058-271-5720

## 平成 27 年国勢調査による岐阜県の人口

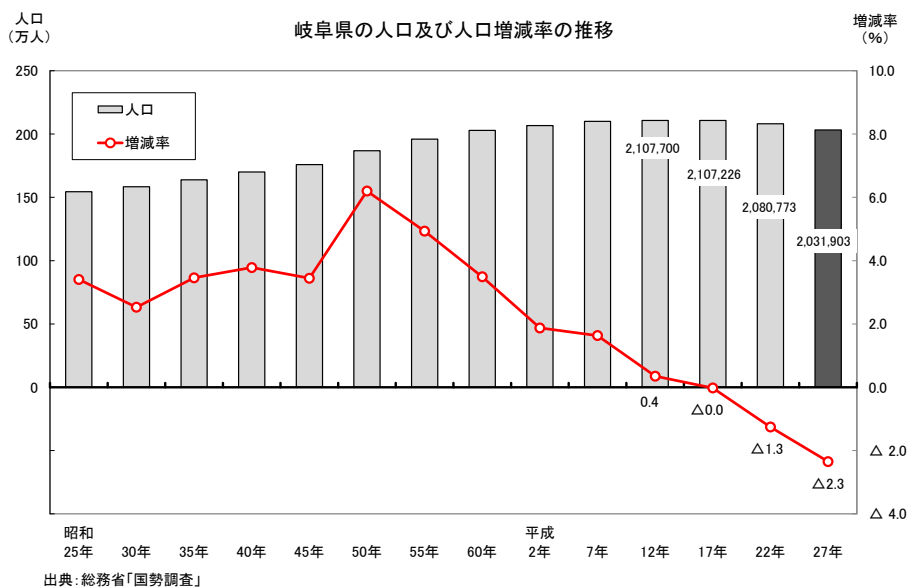
### ～人口等基本集計結果の概要～

総務省統計局から公表された平成 27 年国勢調査の人口等基本集計結果（人口・世帯数の確定値）について、岐阜県分の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

### 1 人口の状況

岐阜県の人口は、203 万 1903 人（平成 27 年 10 月 1 日現在）。  
前回（平成 22 年）以降の 5 年間で、4 万 8870 人（2.3%）の減少。

- ◆岐阜県の人口は 203 万 1903 人と、前回（平成 22 年）以降の 5 年間で 48,870 人の減少。  
前回の平成 22 年調査（H17 に比べ 26,453 人、1.3%の減少）よりも減少幅は拡大。県の人口は多いほうから全国 17 位と順位は変わらず。
- ◆男性が 98 万 3850 人、女性が 104 万 8053 人。女性が男性より 6 万 4203 人多い。  
男性：983,850 人 女性：1,048,053 人（女性が人口総数に占める割合は 51.6%）  
人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 93.9 で、H22（93.6）に比べ 0.3 ポイント上昇。



#### 岐阜県の人口の推移

	平成 17 年 (2005 年)	平成 22 年 (2010 年)	平成 27 年 (2015 年)	平成 17～22 年の増減		平成 22～27 年の増減	
				増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
人口	2,107,226	2,080,773	2,031,903	△ 26,453	△ 1.3	△ 48,870	△ 2.3

## 2 日本人・外国人別にみた人口

- ◆日本人は198万9980人となり、平成22年と比べ47,195人(2.3%)の減少。
- ◆外国人は3万5382人となり、平成22年と比べ1,497人(4.1%)の減少。

岐阜県の日本人・外国人人口の推移

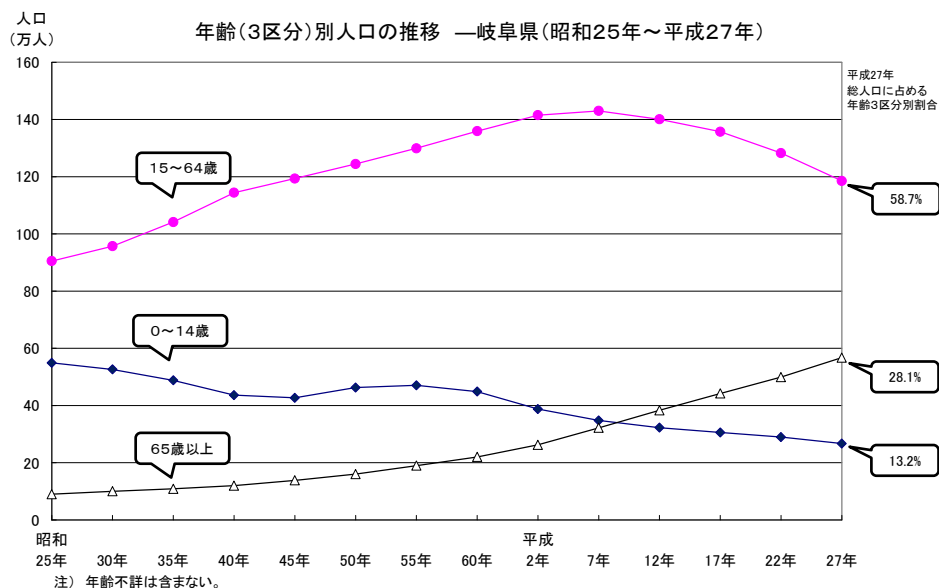
	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17～22年の増減		平成22～27年の増減	
				増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
日本人	2,068,759	2,037,175	1,989,980	△ 31,584	△ 1.5	△ 47,195	△ 2.3
外国人	36,793	36,879	35,382	86	0.2	△ 1,497	△ 4.1

(注) 国籍不詳の人口があるため、日本人と外国人の合計は総人口と一致しない。

## 3 年齢別にみた人口

65歳以上人口の割合は28.1%に上昇し、過去最高となった。  
0～14歳人口の割合は13.2%に低下し、過去最低となった。

- ◆65歳以上人口は56万7571人。人口に占める割合は28.1%に上昇。  
65歳以上人口は、H22から6万8172人(13.7%)増加し、人口に占める割合は28.1%と、H22(24.1%)から4.0ポイント上昇し、過去最高となった。なお、県の65歳以上人口の割合は高い方から全国27位。
- ◆0～14歳人口は26万6998人。人口に占める割合は13.2%に低下。  
0～14歳人口は、H22から2万2750人(7.9%)減少し、人口に占める割合は13.2%と、H22(14.0%)から0.8ポイント低下し、過去最低となった。県の0～14歳人口の割合は高い方から全国11位。
- ◆15～64歳人口は118万5431人。人口に占める割合は58.7%に低下。  
15～64歳の人口はH22から9万7369人(7.6%)減少し、120万人を割り込んだ。人口に占める割合は58.7%と、H22(61.9%)から3.2ポイント低下した。県の15～64歳人口の割合は高い方から全国24位。



年齢（3区分）別人口の推移

		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17～22年の増減		平成22～27年の増減		
					増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)	
人口 (人)	総数	2,107,226	2,080,773	2,031,903	△ 26,453	△ 1.3	△ 48,870	△ 2.3	
	0～14歳	305,845	289,748	266,998	△ 16,097	△ 5.3	△ 22,750	△ 7.9	
	15～64歳	1,357,583	1,282,800	1,185,431	△ 74,783	△ 5.5	△ 97,369	△ 7.6	
	65歳以上	442,124	499,399	567,571	57,275	13.0	68,172	13.7	
割合 (%)	県	総数	100.0	100.0	100.0	-	/	-	/
		0～14歳	14.5	14.0	13.2	△ 0.5	/	△ 0.8	/
		15～64歳	64.5	61.9	58.7	△ 2.6	/	△ 3.2	/
		65歳以上	21.0	24.1	28.1	3.1	/	4.0	/
	全国	総数	100.0	100.0	100.0	-	/	-	/
		0～14歳	13.8	13.2	12.6	△ 0.5	/	△ 0.6	/
		15～64歳	66.1	63.8	60.7	△ 2.3	/	△ 3.0	/
		65歳以上	20.2	23.0	26.6	2.8	/	3.6	/

※ 人口総数には年齢「不詳」を含むため、年齢3区分別人口の計と人口総数は一致しない。  
人口割合は人口総数から年齢「不詳」を除いた人口を分母として算出している。

## 4 地域別に見た人口

42市町村のうち、人口が増加したのは6市町、減少は36市町村。  
人口が減少した市町村が8割を超える。

◆人口が増加した6市町、減少した36市町村の内訳は以下のとおり。

なお、人口が増加した市町村の数は平成22年の12市町から6市町に減少、人口が減少した市町村の数は平成22年の30市町村から36市町村に増加した。

人口が増加 6市町	瑞穂市、可児市、岐南町、美濃加茂市、羽島市、富加町 (増加数の多い順)
人口が減少 36市町村	岐阜市、高山市、海津市、下呂市、土岐市、恵那市、山県市、郡上市、養老町、揖斐川町、関市、多治見市、飛騨市、中津川市、美濃市、瑞浪市、大垣市、白川町、本巣市、八百津町、垂井町、各務原市、神戸町、御嵩町、関ヶ原町、池田町、七宗町、安八町、大野町、川辺町、東白川村、北方町、坂祝町、白川村、笠松町、輪之内町 (減少数の多い順)

◆人口の増減数、増減率の大きい市町村は以下のとおり。

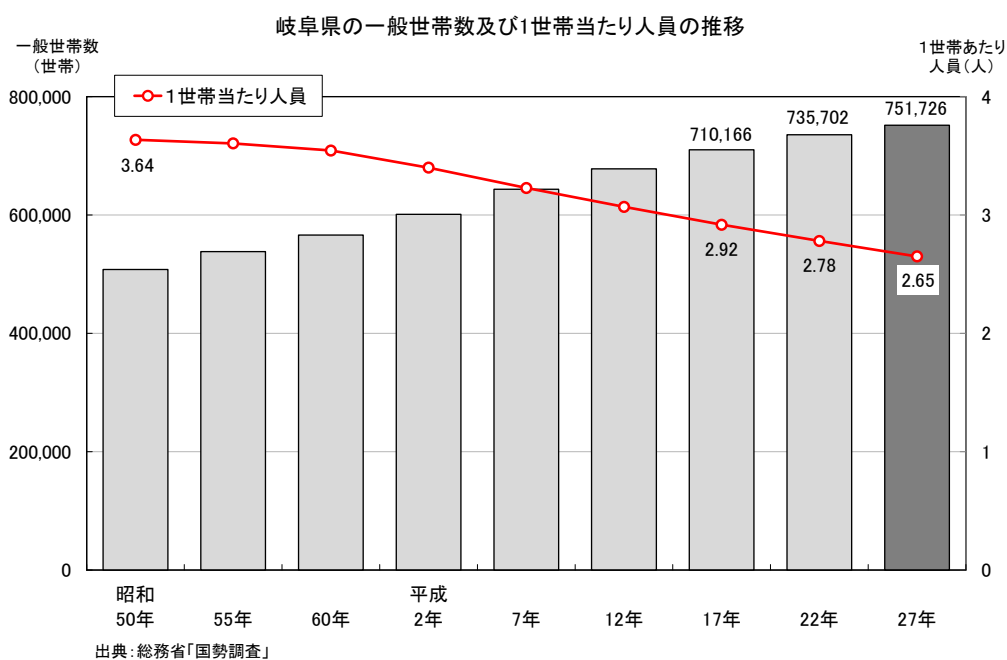
順位	人口増加数		人口増加率		人口減少数		人口減少率	
	市町村名	人数	市町村名	率%	市町村名	人数	市町村名	率%
1	瑞穂市	2,404	瑞穂市	4.6	岐阜市	△6,401	七宗町	△13.6
2	可児市	1,259	岐南町	3.4	高山市	△3,565	白川町	△11.9
3	岐南町	818	可児市	1.3	海津市	△2,735	東白川村	△10.1

## 5 一般世帯の状況

一般世帯数は 75 万 1726 世帯に増加し、過去最高となった。  
1世帯当たり人員は 2.65 人とさらに減少し、過去最低となった。

- ◆一般世帯数は 75 万 1726 世帯となり、平成 22 年と比べ 1 万 6024 世帯（2.2%）増加し、過去最高となった。なお、県の一般世帯数は多いほうから全国 20 位。
- ◆1世帯当たり人員は 2.65 人と減少し、過去最低となった。なお、県の1世帯当たり人員は多いほうから全国 6 位。

※一般世帯とは、「総世帯」から「施設等の世帯（社会福祉施設、学生寮等に住む世帯）」を差し引いたものである。



岐阜県の一般世帯数の推移

	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17～22年の増減		平成22～27年の増減	
				増減数 (世帯)	増減率 (%)	増減数 (世帯)	増減率 (%)
一般世帯	710,166	735,702	751,726	25,536	3.6	16,024	2.2

## 6 家族類型でみた世帯の状況

単独世帯(一人暮らし世帯)は19万3972世帯に増加し、一般世帯に占める割合は25.9%に上昇した。また、65歳以上の単独世帯(一人暮らし世帯)は7万3120世帯に増加し、一般世帯に占める割合は9.7%に上昇した。

◆単独世帯数は19万3972世帯。H22に比べ20,253世帯(11.7%)増加し、過去最高。

本県の単独世帯が一般世帯に占める割合は、25.9%(H22:23.6%)に上昇したものの、全国の割合が34.6%であり、本県の割合は低い方から全国3位となった(全国1位は山形県、2位は奈良県)。また、3世代同居世帯の割合は11.1%と全国の5.7%を上回り、高い方から全国11位となった。

◆65歳以上の高齢者の単独世帯は7万3120世帯。H22に比べ15,821世帯(27.6%)の大幅な増加となり、過去最高に。一般世帯に占める割合も9.7%(H22:7.8%)に上昇。

本県の65歳以上の単独世帯が一般世帯に占める割合は9.7%(H22:7.8%)と上昇したものの、低い方から全国10位となった。65歳以上人口に占める一人暮らし世帯の割合は、男性が11人に1人(9.2%)、女性は6人に1人(15.7%)となった。

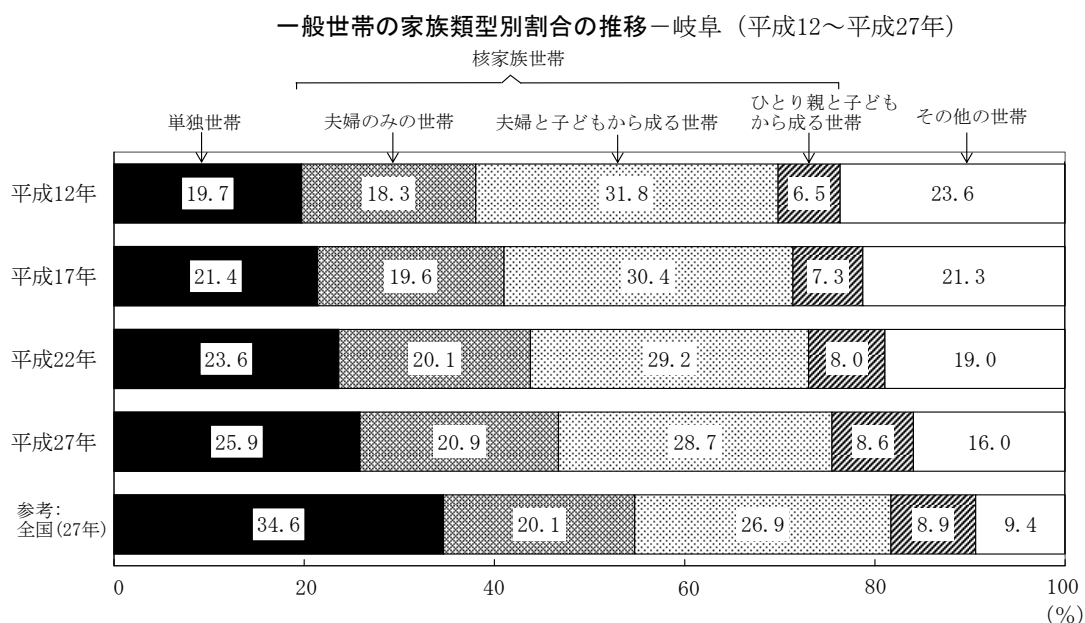
全国では、65歳以上の単独世帯は592万7686世帯と23.7%の増加となり、一般世帯に占める割合は11.1%(H22:9.3%)に上昇した。65歳以上人口に占める一人暮らし世帯の割合は、男性が8人に1人(13.3%)、女性は5人に1人(21.1%)となった。

◆核家族世帯は43万6653世帯。H22に比べ14,510世帯(3.4%)増加。

核家族世帯のうち、夫婦のみの世帯は15万6738世帯と8,628世帯(5.8%)増加した。夫婦と子どもから成る世帯は21万5630世帯と585世帯(0.3%)増加した。ひとり親と子どもから成る世帯は6万4285世帯と5,297世帯(9.0%)増加した。

※核家族世帯＝夫婦のみの世帯、夫婦と子どもから成る世帯、ひとり親と子どもから成る世帯のこと

高齢夫婦世帯(夫65歳以上、妻60歳以上)は9万7900世帯と16,034世帯(19.6%)増加した。



## 7 地域別にみた一般世帯の状況

42 市町村のうち、一般世帯数が増加したのは 26 市町、減少は 16 市町村。  
県と同様に一般世帯数が増加した市町が6割を占める。

◆一般世帯数が増加した 26 市町、減少した 16 市町村の内訳は以下のとおり。

世帯数が増加 26 市町	岐阜市、可児市、瑞穂市、各務原市、大垣市、多治見市、羽島市、美濃加茂市、関市、岐南町、高山市、中津川市、笠松町、瑞浪市、土岐市、北方町、本巣市、御嵩町、大野町、垂井町、輪之内町、富加町、池田町、神戸町、川辺町、坂祝町 (増加数の多い順)
世帯数が減少 16 市町村	下呂市、揖斐川町、飛騨市、美濃市、安八町、養老町、海津市、白川町、八百津町、山県市、関ヶ原町、七宗町、白川村、恵那市、郡上市、東白川村 (減少数の多い順)

◆一般世帯数の増減数、増減率の大きい市町村は以下のとおり。

順位	世帯増加数		世帯増加率		世帯減少数		世帯減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	率%	市町村名	世帯	市町村名	率%
1	岐阜市	3,700	瑞穂市	8.4	下呂市	△373	白川村	△8.0
2	可児市	2,392	可児市	6.9	揖斐川町	△370	七宗町	△5.3
3	瑞穂市	1,633	岐南町	6.5	飛騨市	△265	揖斐川町	△4.9

## 8 配偶関係の状況

若い世代の未婚率は、引き続き上昇。  
35～39 歳では男性 33.2%(+1.1 ポイント)と3人に1人が未婚。女性 19.7%(+1.7 ポイント)と5人に1人が未婚。

◆若い世代の未婚率は引き続き上昇。

25～29 歳では男性 72.0% (+2.0 ポイント)、女性 58.4% (+2.5 ポイント) に上昇。  
30～34 歳では男性 45.4% (+0.7 ポイント)、女性 30.1% (+0.7 ポイント) に上昇。  
35～39 歳では男性 33.2% (+1.1 ポイント)、女性 19.7% (+1.7 ポイント) に上昇。  
なお、全国と比較すると本県の未婚率は低い。

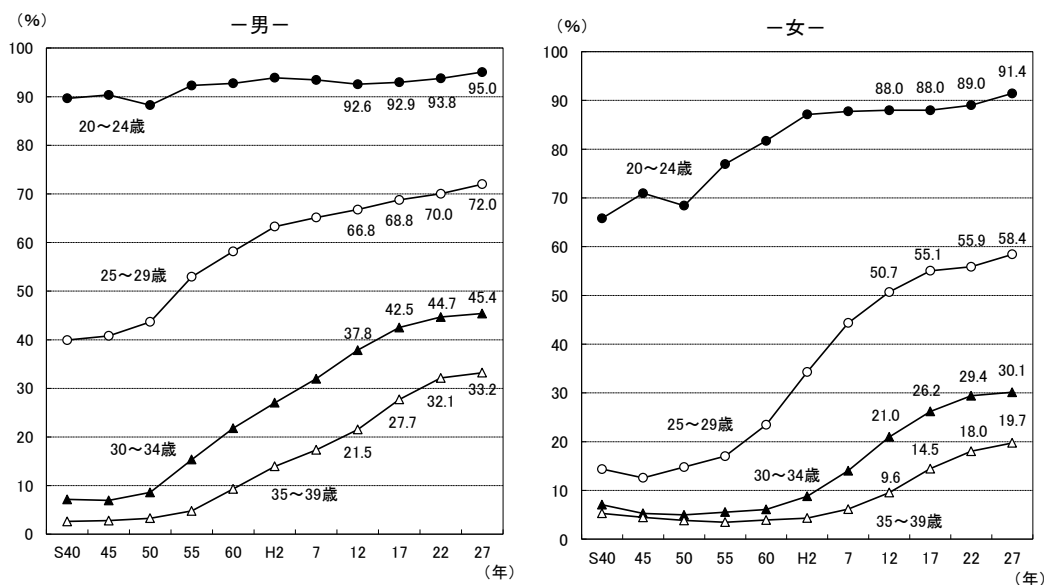
◆生涯未婚率（50 歳時点で結婚したことのない人の割合）も上昇

生涯未婚率は男性 20.1% (H22:15.8%)、女性 10.0% (H22:6.8%) と上昇。  
全国は男性 23.4%、女性 14.1%であり、本県は全国より低い。

年齢別未婚率の推移 (%)

	年齢 (歳)	男			女		
		平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)
県	20～24歳	92.9	93.8	95.0	88.0	89.0	91.4
	25～29歳	68.8	70.0	72.0	55.1	55.9	58.4
	30～34歳	42.5	44.7	45.4	26.2	29.4	30.1
	35～39歳	27.7	32.1	33.2	14.5	18.0	19.7
全国	20～24歳	93.5	94.0	95.0	88.7	89.6	91.4
	25～29歳	71.4	71.8	72.7	59.1	60.3	61.3
	30～34歳	47.1	47.3	47.1	32.0	34.5	34.6
	35～39歳	31.2	35.6	35.0	18.7	23.1	23.9

※未婚率は配偶関係不詳の人口を除いて算出している。



## 9 住居の状況

◆住宅に住む一般世帯に占める持ち家の割合は 74.1% (H22:73.4%)

高い方から全国 7 位。

住宅に住む一般世帯数 : 738,037 世帯 (H22:723,123 世帯)

うち持ち家に住む世帯数 : 547,207 世帯 (H22:531,106 世帯)

## 10 まとめ

岐阜県の総人口は、平成 22 年調査よりも 4 万 8870 人減少し、203 万 1903 人となった。なお、減少数は恵那市の人口 (51,073 人) と同規模である。

人口構成をみると、65 歳以上人口が 56 万 7571 人と 13.7% 増加する一方、0~14 歳人口が 26 万 6998 人と 7.9% の減少、15~64 歳のいわゆる「現役世代」が 118 万 5431 人と 7.6% の減少となっている。

市町村別にみると、瑞穂市 (人口 54,354 人 : 4.6% 増) や岐南町 (人口 24,622 人 : 3.4% 増) のように増加した市町村がある一方、七宗町 (人口 3,876 人 : 13.6% 減) や、白川町 (人口 8,392 人 : 11.9% 減) のように減少した市町村がある。

世帯の状況をみると、単独世帯が 19 万 3972 世帯 (11.7% 増)、特に 65 歳以上の単独世帯数が 7 万 3120 世帯 (27.6% 増) と大幅に増加していることから、1 世帯当たり人員数は 2.78 人から 2.65 人に減少した。ただし、他の都道府県との比較では、1 世帯当たり人員数は全国平均 (2.33 人) を上回り、多い方から全国 6 位、単独世帯の割合も 25.9% と山形県、奈良県に次いで低い方から全国 3 位、3 世代同居世帯の割合も 11.1% で全国 11 位と高いことから伺われるように、比較的、家族の人数が多い県となっている。

## 国勢調査の今後の主な公表予定

- 平成 29 年 1 月 移動人口の男女・年齢等集計  
・市区町村別の人口の転出入状況など
- 平成 29 年 4 月 就業状態等基本集計  
・労働力人口、産業・職業別の就業者数など
- 平成 29 年 6 月 従業地・通学地による人口・就業状態等集計  
・就業者、通学者の通勤・通学先市区町村など

## 参考表

- 表－1 岐阜県の総人口及び総世帯数の推移
- 表－2 岐阜県の年齢(3 区分)別人口の推移
- 表－3 岐阜県の一般世帯数及び1 世帯当たり人員の推移
- 表－4 岐阜県の家族類型別一般世帯数の推移(平成 12 年～平成 27 年)
- 表－5 市町村別総人口・総世帯数
- 表－6 市町村別の年齢(3 区分)別人口及び割合
- 表－7 市町村別一般世帯数及び1 世帯当たり人員
- 表－8 市町村別の家族類型別一般世帯数及び割合
- 表－9 市町村別人口の推移(昭和 60 年～平成 27 年)
- 表－10 人口・人口増減数の都道府県一覧
- 表－11 年齢 3 区分別人口割合の都道府県一覧
- 表－12 一般世帯数の都道府県一覧

※国勢調査人口等基本集計の統計表は、総務省統計局ホームページで公表されています。

<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>